

第20号

琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp



琴清苑全景（4月7日 航空写真）

上空から見た琴清苑

あいさつ
生活相談員 佐々木健児

奥多摩の山々は初夏の装いになって、眼下を流れる多摩川には、カジカ蛙の歌声が響く季節になってまいりました。都心部の暑さとはかけ離れた静けさが広がっております。琴清苑は開設してから28回目の夏を迎えます。開設当初はエアコンが無く自然の風のみが涼風として流れていた様です。開設以来の職員も数名、20年以上勤務している職員も6名になりました。館内のエアコン設置や開設以来変化が無い箇所も少なくなってきました。措置入所から介護保険に変わり、職員もフレッシュな職員が増えてきました。時代とともに変わってきたことがあまりにも多く戸惑うばかりです。時代や職員が代わっても変わらないものが琴清苑にはあると思います。それは開設以来、理念としてあげられていた「心の福祉」です。開設時に生活指導員であられた安部トミヨ先生は、新規に入所された利用者者の不安をなくす為、一晩ベットサイドで過ごされたという話が伝えられています。利用者と職員が親密で信頼のある関係を築くことが心の福祉の継承であり、今後も変わらない理念であると思います。介護に対する方法論は時代とともに変わっていきます。変わらないもの、それは精神や理念であると思います。新しいマンパワーに伝えること、それは古くから介護に関して来た者の使命ではないでしょうか。

お花見



4月2日(金)にお花見が行なわれました。待ちに待ったお花見に心弾ませながら施設を14時に出発、お天気も良く約20分で目的地の御岳苑地に到着しました。それぞれ桜の下を散策され、ジュース・お菓子等を頂きながら、楽しい一時を過ごされました。久しぶりの外出で満開の桜と新鮮な空気を満喫し帰苑されました。



満開の桜をバックに記念撮影



千場富男様



廣瀬源治様

散歩

春の日差しが暖かい季節となり前庭に散歩に出かけ、ピンク色に咲いた芝桜を觀賞しました。外の空気に触れ利用者のほころぶ笑顔が印象的でした。



散歩の様子(駐車場にて) 左より古屋照子様・大堀綾子様



花まつり

4月8日、お釈迦様の誕生された日に花まつりが行なわれました。利用者の方々もそれぞれの願いを込めて、お祈りしました。利用者皆様の願いが届く事を職員一同切に願っています。



お釈迦様に甘茶を掛けて、誕生を祝う原島キミ様



奥多摩町長選挙 不在者投票

琴清苑では、公職選挙法の指定施設等により、5月14日に不在者投票を実施しました。近年利用者の重度化が進み、在籍者84名(1名欠員)の内、投票意思の無い方、及び資格の無い方を合わせて66名で、投票を行なった。



不在者投票の様子 松本忠男様

方はわずか18名でした。また、数名の方の代理投票補助は、職員が代筆を行ないました。間もなく参議院選挙の不在者投票を行なう事となりませんが、この投票率減少化傾向は一段と進むのではと予測され、進む他施設でも同様であると思われます。



不在者投票の様子 近藤辰男様

昼食会



月に一度行なわれる昼食会は、多くの利用者の方には喜ばれており、琴清苑では欠かせない行事の一つになっていきます。今回は、フランス料理を食べ易くアレンジしたメニューでした。利用者の笑顔が溢れ、会話がはずむ光景が多く見られました。普段より食欲の増す方も少なくありませんでした。



昼食会を楽しむ内田や江子様

より一層、利用者の皆様に喜んで頂ける様、サービスの向上を図り提供していきたいと思っております。

ドクター中野の星のおはなし No.13

火星の水と生物

1965年、アメリカ航空宇宙局(NASA)から発射された火星探査機マリナー4号は詳細な写真を送ってきた。

今回は今年2月4日、2機の探査機、オポチュニティーとスピリットは過去火星には大量の水が存在したという確証をもたらしたという。

探査機による研究分野は地質をはじめ惑星科学の広範囲におよび、研究機材も多彩である。岩石・土壌の調査、鉄ミョウバン石発見、層状の岩石の中から顕微鏡付カメラにより、水中塩分の結晶らしきものの発見、水の痕跡が鉱物という形で検出された。

(赤鉄鉱) 2002年中性子観測による観測で、地下の浅い部分に氷の存在可能であること、また赤外線観測で南極ではドライアイスが存在を証明した。現在分かっている火星について要約すれば次のようになる。

過去の水の存在確実・水との関係がある鉱物発見・過去の湖・河等の存在可能性多い。地形等により判断、海の存在も海岸線の地形から同様に判断される。現在液体の水の存在の可能性は少ない。原因は気圧が低く、水は氷から瞬時水蒸気に変化するため。水の存在はほぼ確実、なお今後研究がすすめば新事実も出てくるであろう。

生命の存在

むかし、火星の出現がまことしやかに伝えられた。(10号参照)地球には他の惑星から飛来した隕石がある。そのひとつ1600万年前、火星を飛び出し、

1万3000年前地球にとどき南極で発見された。この隕石を研究したNASAの科学者は地球のバクテリアに似た化石らしいものを見出し、あるいは「原始生命の痕跡」ではないかと考えられたが、現在では不明とされている。

火星は広く、極に近いところに何かあるかもしれない。この隕石研究は1996年に発表され、当時のアメリカ大統領クリントンが世紀の大発見とたたえ喧伝され驚いたことだった。



火星隕石中の生命の痕跡?電子顕微鏡で見つかった中央の微生物状のもの



火星隕石 1984年南極で発見

写真 藤井 旭
『宇宙大全』より

行事予定

7月 1日	開苑記念日
7月 12日	盆供養
7月 13日	盆迎え火
7月 16日	送り火
7月 26日	布団乾燥
7月 27日	布団乾燥
8月 20日	昼食会
9月 17日	昼食会
9月 20日	敬老祭
9月 25日	お彼岸

入苑された利用者 (4月~6月)

4月 大館ミネ様 (奥多摩町)
5月 石川イト様 (台東区)
5月 渡辺マサ様 (奥多摩町)
6月 鈴木常吉様 (練馬区)
6月 鈴木常吉様 (台東区)

職員の異動

入職 小峰徳雄 (パート職員)
入職 増田光一 (パート職員)
入職 池田初江 (パート職員)
入職 古菅光平 (パート職員)
退職 渡辺守男 (パート職員)

ボランティア状況 (4月~6月)

ボランティア交換 (敬称略)
酒井久、杉山初、奥平恭子
馬場静子、たんぼの会
指圧奉仕会
奥多摩奉仕会

職員紹介

介護職員

鳥崎賀恵子



介護職になった初めて、不安を持ちながら研修に行ったり、昨日の様に話をする人が、前日盆踊りもした事があったと、思っていた時「盆踊りは楽しく、輪に入っていれば自然と覚えるわよ」やさしく笑顔で対応して下さった(寿楽荘指導員原島トクさん)時の事はとっても嬉しく安心して仕事を覚えていきます。それと介護職をひっぱって指導して下さいました。福祉第一の人の安部トミヨ先生。厳しい中にも優しさを忘れない先生でした。

平成十二年四月から介護保険制度の導入により、色々な難しなくなってきました。現在、残り少なくなってきました。定年退職まで、一杯頑張っていきたいと思

編集後記

ね。もうすぐ七夕です。な。最近七夕は、飾りも施設は、短冊も、や。健康利用者の代わり、七夕飾りなどを作ります。お願

